

高精細3Dプリンタ導入のお知らせ

KEYENCE社AGILISTA-3200



本装置は令和5年度研究機器整備事業にて採択・導入された装置です。学内の方であればどなたでも利用可能ですのでご興味ある方はご連絡ください。

【装置の特徴】

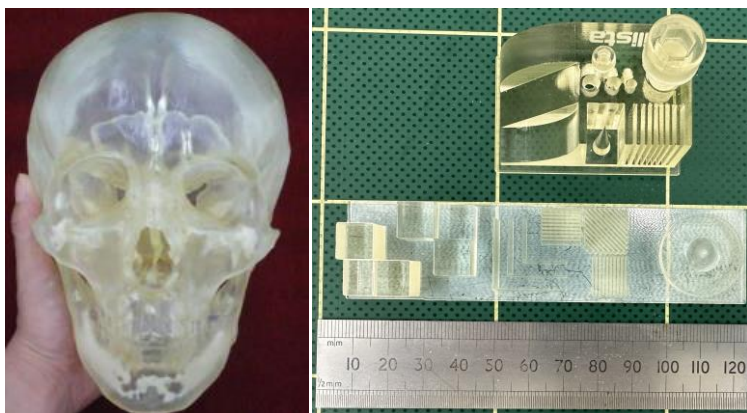
- ・積層ピッチが15 μm で細かい部品を設計図通りに造形できます。
- ・水溶性のサポート材を採用しており、複雑で入り組んだ形状の造形ができます。
- ・靱性を持たせた樹脂材料で、割れにくい素材を使用しています。ネジ締めも可能です。

【用途（一例）】

- ・研究機器や動物実験で用いる特殊な形状の器具、3次元培養容器の作製
- ・CTやMRIデータからの立体的な臓器モデルの作製

<装置仕様>

- ・インクジェット式
- ・造形サイズ：～297×210×200 (mm)
- ・最小積層ピッチ：15 μm
- ・造形材（4種類から選択）（耐熱温度）
透明樹脂（50 $^{\circ}\text{C}$ ）
耐熱樹脂（70 $^{\circ}\text{C}$ 、追加熱処理後103 $^{\circ}\text{C}$ ）
高硬度シリコンゴム（150 $^{\circ}\text{C}$ 以上）
低硬度シリコンゴム（150 $^{\circ}\text{C}$ 以上）



利用方法

依頼者 → 細胞バンク

STL
ファイルの*
の提出



見積書
送付



造形
依頼



造形物
作製



お渡
し

細胞バンク → 依頼者

細胞バンク → 依頼者

*CTやMRIから出力されるDICOM画像も可。

※ 設計図からの作製は現在行っておりません。

※ 材質や造形物を見たい方はご連絡ください。各材料で作製したサンプル品を用意しています。

◆お問合せ先◆

医学部教育研究機器センター細胞バンク部門
内線：25240, 25250
e-mail : cellbank@sapmed.ac.jp

◆メーカー装置紹介Webページ◆

